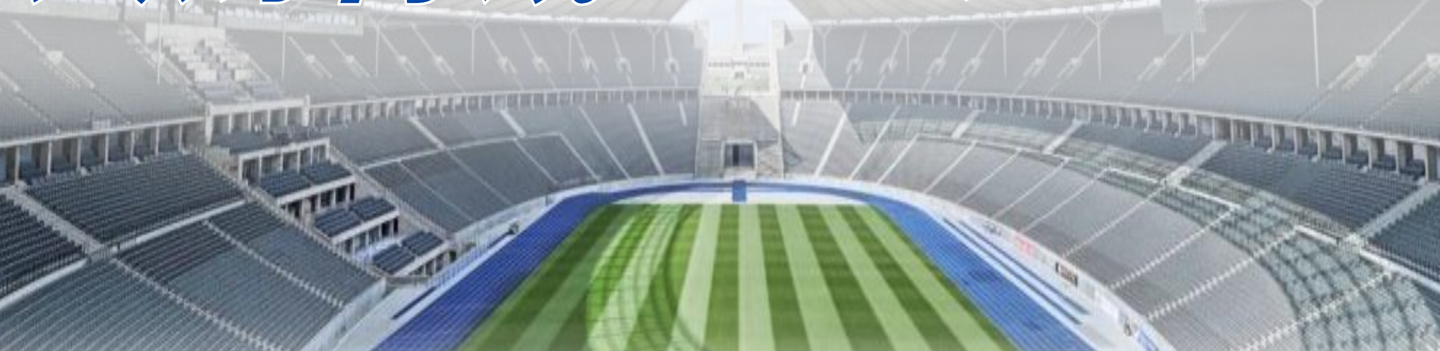
筑波大学 × 神田外語大学

第4回 国際スポーツボランティア人財育成プログラム



➤開催日程

9月23日㊐・30日㊐ 2日間

➤開催目的

ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際大会におけるボランティアとして活躍するために教養・知識を身につける。
障害のある人へのサポート方法などを実技を通して学ぶ。

➤開催場所

神田外語学院東京キャンパス 本館7階大講堂
筑波大学附属中高校内 桐陰会館

➤受講料

5,000円（税込）
※施設使用料、資料印刷費、講師料、修了証制作費等含む

➤対象

大学生（定員120名）

➤修了証

全日程出席者に修了証を発行
※筑波大学 学長、神田外語大学 学長の直筆サイン入り修了証になります。
※国際スポーツ大会のボランティア申込の際、研修履歴に活用できます。

TOKYO 2020
教育プログラム
［ようい、ドン！］

メッセージと主な取り組み

筑波大学
体育系/教授
東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会参与

真田　久

2020年までいよいよ2年になりました。2020年に多くのアスリートとそのスタッフ、メディアそして観光客などが訪れます。それらを通して日本の社会はどのように変わるのでしょうか？この歴史的なイベントにどのようにすれば関わることができるでしょう。その一つがボランティアとして具体的に関わることです。

このほど、オリンピック・パラリンピック教育で伝統のある筑波大学と語学教育、スポーツボランティア育成に強みのある神田外語大学が共催し、ボランティア講座を開催することとなりました。この講座を学習して意義ある2020年に活躍されますことを期待します。

先日、ローザンヌでT.バッハIOC会長を表敬訪問した際、ボランティア育成はオリンピックのレガシーとして重要であるとのお話をいただきました。ボランティアとして、かけがえのない経験をし、2020年の歴史の証人になりましょう！

神田外語大学
体育・スポーツセンター／ボランティアセンター専任講師
スポーツ通訳ボランティア推進室長

朴 ジョンヨン

オリンピック・パラリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化・グローバル化は急速に進行しています。スポーツは国籍を問わず、言語・人種・宗教を乗り越え、世界の人々に喜びと感動、そして勇気を与える力を持っています。その意味ではスポーツは世界をつなぐ平和の共通語であり、優れたコミュニケーションツールでもあります。

神田外語大学からは毎年、国内外で開催される国際スポーツ大会・イベントに多くの学生を通訳ボランティアとして送り出しています。参加した学生からは「学んでいる言語以外に、ほかの言語を学びたいという意欲がわいた」、「外国人選手と接し、異文化理解力が深められた」など活動の充実さが窺えます。この経験を通じ、客観的な自己の言語能力に気づき、外国語学習へのモチベーションアップに繋ぎ、グローバル社会で活躍することを願ってやみません。

グローバルマナースプリングス
代表
筑波大学客員教授

江上　いずみ

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京大会、2021年関西ワールドマスターズゲームと大きなスポーツイベントが3年続けて日本で開催されます。そのような大きな国際スポーツ大会において、ホスト国日本の国民としてどうあるべきかを学ぶ「おもてなし学」の授業を筑波大学ですすめています。

今回の育成プログラムでは、ボランティアとして活躍する皆様に「おもてなしの心」の極意とグローバルマナーをお伝えしたいという願いを込めて、カリキュラムを熟考しました。

言語・宗教・習慣・食文化・国民性の違いのみならず、年齢・職業や障がいの有無などを含めた多様性に応じて、自己を確立しつつ、他者を需要して、臆せずに積極的に外国の方々をお迎えする方法を実践しながら学びたいと思います。

思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、心づかいの素晴らしさを評価されるマナー大国「日本」ですが、さらに2020年以降の国際社会を見据えた「おもてなしの心」と「心づかい」を皆さんで学んでいきましょう。

筑波大学の取り組み

オリンピック教育プラットフォーム
Centre for Olympic Research and Education
CORE

筑波大学は日本人初のIOC委員嘉納治五郎（東京高等師範学校校長）の生誕150周年を記念してオリンピック教育プラットフォーム（CORE）を設置し、オリンピック・パラリンピック教育の研究と展開を附属学校11校（うち５校は特別支援学校）と始めました。COREはIOC公認のオリンピック研究センターに認められています。これを起点に全国にオリンピック・パラリンピック教育の普及と展開に努めています。

神田外語大学の取り組み

2017冬季アジア札幌大会 NOCアシスタント（選手団サポート）

【日程】2017年2月12日（日）～27日（月）
【参加人数】全国外大連合の学生84名(本学41名)
【対応言語】英語32名/韓国語4名/中国語5名
【主な活動内容】
・各国のチーム付通訳
・大会役員付通訳
・運営局のサポート
・練習・試合後の選手ケア
・日常生活でのサポート等

2018平昌冬季オリンピック 通訳・運営ボランティアプログラム

【日程】2018年2月1日（木）～26日（月）
【参加人数】全国外大連合の学生100名(本学67名)
【対応言語】英語27名/韓国語27名/中国語8名/スペイン語2名/ポルトガル語1名/イタリア語1名/ロシア語1名
【主な活動内容】
・総合インフォメーション
・観客案内
・チケット対応と案内

講師紹介

筑波大学教員

教授　真田久
東京生まれ。筑波大学体育専門学群卒、同大学院体育研究科修了。福岡教育大学教員を経て、1996年より筑波大学教員。2012年より2018年３月まで体育専門学群長。博士（人間科学）。専門はオリンピック史とオリンピック教育。

客員教授　江上いずみ
筑波大学附属高校から慶大法学部法律学科卒。日本航空客室乗務員として30年に渡り国際線を乗務し、2013年7月に退社。同年11月、Global Manner Springs設立。14年より筑波大学にて講義を開始し、15年同大学客員教授就任。

附属視覚特別支援学校 教諭　氣仙有実子
2007年より筑波大学附属視覚特別支援学校着任。2008年10月社会福祉法人日本ライトハウス視覚障害生活訓練等指導者養成課程1年基礎Ⅰ修了。2016年4月特別支援教育研究センター（現・特別支援教育連携推進グループ）教諭となり現在に至る。

神田外語大学教員

国際コミュニケーション専攻長 教授　小坂貴志
1987年、青山学院大学文学部卒業。日本アイ･ビー･エム株式会社（システム･インテグレーション）、モントレー国際大学大学院助教授（ローカリゼーション）、立教大学経営学部特任准教授（英語コミュニケーション）などを経て現職。

体育･スポーツセンター/ボランティアセンター専任講師
スポーツ通訳ボランティア推進室長　朴ジョンヨン
韓国ソウル市出身。筑波大学大学院（体育学）を修了し、2007年～現在まで139回の国際大会に1,253名のボランティア人財を送り出した。その他筑波大学や上智大学、早稲田大学にて、非常勤講師、ゲスト講師等にも携わる。

体育･スポーツセンター 専任講師　江川潤
福島県出身。順天堂大学スポーツ健康科学部卒、筑波大学大学院体育研究科修了（体育学）。現在、順天堂大学博士後期課程にも在籍をし、野外教育学と組織行動、言語習得、コミュニケーションスキル等の関連性の分析、及び研究を実践を通して行っている。

ゲスト講師

ラグビーワールドカップ2019組織委員会
事務総長 特別補佐　徳増浩司
ICU卒。ウェールズのカーディフ教育大学でラグビーのコーチングを学ぶ。帰国後、茗渓学園高校ラグビー部を率いて全国優勝。ラグビーワールドカップ2019の日本招致に成功。2015年～2017年アジアラグビー会長。

東京オリンピック･パラリンピック競技大会
組織委員会 理事　ヨーコゼッターランド
アメリカ生まれ。女子バレーボールアメリカ代表として、バルセロナオリンピック出場、アトランタオリンピックでは銅メダル獲得。現在はバレーボール界だけでなく、スポーツや教育へ幅広く携わっている。

文教大学 准教授　二宮雅也
宮崎県延岡市出身。筑波大学卒。同大学院体育学修了。スポーツ社会学を専門とし、日本財団ボランティアサポートセンター参与として東京2020大会ボランティア戦略策定に従事。組織委員会ボランティアアドバイザリー会議アドバイザー。

Multilingual Club ファシリテーター　新条正恵
関西外国語大学卒。ニューヨークメロン銀行ヴァイスプレジデント職を経て、日本最大級の社会人多言語サロン「マルチリンガルクラブ」設立。英、米、豪3つの英語を使い分け、計8カ国語を話すマルチリンガル。

会場のご案内

JR神田駅より徒歩２分

有楽町線護国寺駅より徒歩8分
丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩10分

カリキュラム＆スケジュール

9/23(日)1日目	講座テーマ	担当講師
9:00-9:30	**受 付**	
9:30-9:40	**開 講 式**	
9:40-10:30	**オリンピック･パラリンピックの歴史と教育**	真田 久
10:40-11:30	**スポーツボランティアに求められること**	二宮 雅也
11:40-12:30	**国際スポーツ大会におけるボランティアの意義と役割**	朴 ジョンヨン
12:30-13:30	**昼 食**	
13:30-14:20	**スポーツから学ぶグローバル人財**	朴 ジョンヨン
14:30-15:20	**アスリートから学ぶ人間力**	ヨーコ･ゼッターランド、真田 久
15:30-17:10	**グローバルマナーと異文化コミュニケーション**	江上 いずみ
17:10-17:20	**諸 連 絡**（2日目の連絡事項･会場確認等）	

9/30(日)2日目	講座テーマ	担当講師
9:00-9:10	**諸 連 絡**（2日目の流れ説明）	
9:10-10:00	**平昌冬季オリンピックボランティア学生パネルディスカッション**	真田 久、ボランティア経験学生2名
10:10-11:00	**通訳概論とロールプレイ演習**	小坂 貴志
11:10-12:00	**多言語を話すことで加速する語学習得**	新条 正恵
12:00-13:00	**昼 食**	
13:00-13:50	**ラグビーワールドカップ2019大会のメカニズム**	徳増 浩司

少人数講座 ※3つのグループに分けれて受講	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
14:00-14:55	講座① **ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ** 江川 潤（育鳳館）	講座② **視覚障害者ガイド** 氣仙 有実子（育鳳館）	講座③ **ボッチャ** 江上 いずみ（桐陰会館）
15:05-16:00	講座② **視覚障害者ガイド** 氣仙 有実子（育鳳館）	講座③ **ボッチャ** 江上 いずみ（桐陰会館）	講座① **ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ** 江川 潤（育鳳館）
16:10-17:05	講座③ **ボッチャ** 江上 いずみ（桐陰会館）	講座① **ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ･ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ** 江川 潤（育鳳館）	講座② **視覚障害者ガイド** 氣仙 有実子（育鳳館）
17:15-17:30	**閉 講 式 ・ 修了証授与**		

申込方法

右記「**QRコード**」または下記「**お問い合わせ先**」HPから『国際スポーツボランティア人財育成プログラム』開催要項ページへアクセスの上、お申し込みください。
【申込期間】**8月31日（金）まで**

お問い合わせ先　神田外語大学　スポーツ通訳ボランティア推進室
http://sports-volunteer.tokyo/